



# 「はっけん！ ノート」

にち じ へいせい ねん がつ にち とうび  
 日 時：平成26年12月13日（土）8：45～16：00  
 こさめけっこう こうてん ばあい がつ にち かようび えんき  
 ※小雨決行（荒天の場合、12月23日（火）に延期）  
 ば しょ けんりつち が さ きさとやまこうえん  
 場 所：県立茅ヶ崎里山公園  
 しゅ さい ち が さ き しかなきょうせいさくか  
 主 催：茅ヶ崎市環境政策課  
 きょう りょく こうえきざいだんほうじん かながわ けんこうえんきょうかい  
 協 力：公益財団法人 神奈川県公園協会  
 やなぎやと しぜん まな かい  
 柳谷の自然に学ぶ会

氏	名	
---	---	--

# さとやま たい 里山はっけん隊！スケジュール



8:45 集 合 ちがさきしやくしよぶんちようしやまえ 茅ヶ崎市役所分庁舎前

9:00 出 発

9:30 到 着 けんりつちがさきさとやまこうえん さと いえ 県立茅ヶ崎里山公園「里の家」

①調査場所に着くまでに周りのようすを見ましょう。

②はっけんカードを使って観察しましょう。

12:00 昼 食 けんりつちがさきさとやまこうえん やと いえ 県立茅ヶ崎里山公園「谷の家」

も 持ってきたお弁当を 食べてね。

13:00 はっぴょうなど 発表等 「谷の家」

15:30 出 発 「パークセンター」

さとやまむかしからつくられてきたお やつを作ったり、今日の「はっ けん！」をみんなで話し合うよ

16:00 解 散 しやくしよちやく 市役所着

## しゅうごうばしよ [集合場所]

かんきょうにやさしいじてんしややバス、でんしやで来よう！



そうごうたいいくかん 総合体育館

しみんぶんかかいかん 市民文化会館

ちゅうおうこうえん 中央公園



集 合 場 所

ぶんちようしや 分庁舎

かせつちようしや 仮設庁舎

※じてんしや はここに とめられます。

おそく 遅れないでね！

しやくしよほんちようしや 市役所本庁舎



# さとやま 里山はっけん隊！を開始する前に…



## ◎持ち物

(必ず持ってくるもの)

- 長そで、  長ずぼん、  ぼうし、  長ぐつ、  軍手
- お弁当、  水筒、  コップ (温かいお茶用) (水筒のコップ可)
- 筆記用具、  タオル、  はっけんノート

(持ってくるると便利なもの)

- 双眼鏡、  虫取り網
- デジタルカメラ
- 雨具 (天候によって)
- バンドエイドなど
- くつ下 (多めに)
- ビニール袋

ネイチャーゲームの目隠しに使うので、フェイスタオルなど長いタオルを持ってくるてください。

午後は「谷の家」の中でのワークショップですが、昔の家なので、すきま風があり、寒いです。足下から冷えますので、くつ下を多めに履いたり、ズボンを2重に履くなどして防寒しましょう。

## ◎どんな服装がいいのかな？

寒いので暖かい格好をしましょう。

歩くと暖かくなるので、調節できる格好をしましょう。

## ◎フィールドマナーを守ろう！

1. リーダーの言うことを良く聞いて観察しよう。
2. 大きな音や大声を出さないようにしよう。
3. 田んぼや畑には入らないようにしよう。
4. 踏み荒らさないように、なるべく道を歩こう。
5. ごみは必ず持ち帰ろう。
6. 危険なものには触らないようにしよう。

※特に危険なもの!! → 毒へび

絶対に近寄ったらダメだよ！

草むらに入るときは注意！！



ヤマカガシ



マムシ

# みんなで守る「コア地域」

茅ヶ崎市では、市内の自然を調査して、特に重要な場所を「コア地域」と決めて、みんなで守っていくことに決めました。「里山はっけん隊！」で行く、県立茅ヶ崎里山公園がある「柳谷」も「コア地域」のひとつです。みんなで守っていくためには、その場所がどんな場所で、どうして重要なのかを知って、どうやって守っていくか考えることが大切です。

みなさんも、大切な自然環境を守るため、里山はっけん隊！で知ったことを、お友達にも教えて、みんなでどうやって守っていくか考えましょう。



茅ヶ崎市の7つの「コア地域」(特に重要な自然環境)

柳谷：市内最大の谷戸で、市内で最も多くの動植物が確認されています。その多くは県立茅ヶ崎里山公園に含まれており、一年を通じて多くの方が訪れています。水田・湿地・細流・草地などやこれらを囲む樹林が広がっています。

# さとやま 里山ってどんなところ？



みんなは里山って、どんなところか知っているかな？

里山は、人間が昔から手入れをしながら作り上げた、身近な自然環境です。里山では、人間が水路を開き、田んぼや畑を耕し、雑木林の手入れをし、そうすることで、さまざまな植物や昆虫、小鳥、うさぎなど、たくさんの生きものが生きられる環境が保たれてきました。みんなのおじいさんやおばあさんが小さかった頃よりも、ずっとずっと昔から、人間は、食べ物や水や燃料など、生活に必要なものはすべて、里山のめぐみからいただき、自然と調和しながら暮らしていたのです。

こっちがさとやま里山のふうけい風景だよ。



地面にいろいろな植物があるよ



地面に生えている植物の種類が少ないよ。



# さとやま 里山に行ってみよう！

「里山はっけん隊！」の活動フィールドは、県立茅ヶ崎里山公園です。懐かしく美しい里山を目指して、平成13年10月に開園しました。

公園内には、田んぼや畑、雑木林や水辺などからなる里山の風景が広がっています。今回(第4期)の「里山はっけん隊！」では、全4回シリーズで、水辺や草地、雑木林など、異なるエリアごとの環境を詳しく調べて、生きものや人の暮らしと環境とのつながりを「はっけん！」します。

# やと 谷戸ってなに？

谷戸とは、尾根と谷からなる地形のことで、両側の尾根から谷戸底にかけての斜面林が水を蓄え、谷戸底の田畑を潤します。



# 「<sup>さとやま</sup>里山<sup>たい</sup>はっけん隊！」をはじめよう！！



## ① <sup>かんさつ</sup>観察<sup>ばしょ</sup>場所<sup>くわ</sup>を<sup>し</sup>詳しく<sup>し</sup>知ろう

里山では、水<sup>みず</sup>辺<sup>べ</sup>や草<sup>くさ</sup>地<sup>ち</sup>や樹<sup>じゆ</sup>林<sup>りん</sup>など、ちが<sup>か</sup>った環<sup>かん</sup>境<sup>きやう</sup>が組<sup>く</sup>み合<sup>あ</sup>わさること<sup>こと</sup>で、た<sup>た</sup>くさ<sup>さ</sup>ん<sup>ん</sup>の生<sup>い</sup>きもの<sup>もの</sup>が育<sup>はぐ</sup>ま<sup>ま</sup>れて<sup>て</sup>い<sup>い</sup>ます。今<sup>こん</sup>回<sup>かい</sup>の「はっけん隊！」は「里<sup>さと</sup>の家<sup>いえ</sup>」から南<sup>みな</sup>に向<sup>む</sup>かっ<sup>て</sup>「谷<sup>やと</sup>戸<sup>どこ</sup>底<sup>かんさつ</sup>」を<sup>し</sup>観<sup>さ</sup>察<sup>つ</sup>し、き<sup>き</sup>つ<sup>ね</sup>坂<sup>さか</sup>か<sup>ら</sup>「西<sup>にし</sup>尾<sup>おね</sup>根<sup>あが</sup>」に上<sup>あ</sup>る<sup>こ</sup>う<sup>す</sup>です。

### ① <sup>くろまい</sup>黒<sup>た</sup>米<sup>た</sup>田<sup>た</sup>ん<sup>ば</sup>ぼ



### ② <sup>やと</sup>谷<sup>どこ</sup>戸<sup>し</sup>底<sup>ち</sup>の<sup>し</sup>湿<sup>し</sup>地<sup>ち</sup>



### ③ <sup>にし</sup>西<sup>お</sup>尾<sup>ね</sup>根<sup>はやし</sup>の<sup>し</sup>林<sup>しん</sup>



### ④ <sup>せり</sup>芹<sup>さわ</sup>沢<sup>い</sup>の<sup>け</sup>池<sup>いけ</sup>



...トイレ  
 ...水飲み場  
**⑤ <sup>やと</sup>谷<sup>いえ</sup>の家<sup>いえ</sup>**  
 ...水飲み場

### ゴール

## た いけ 田んぼ (①)、池 (④)

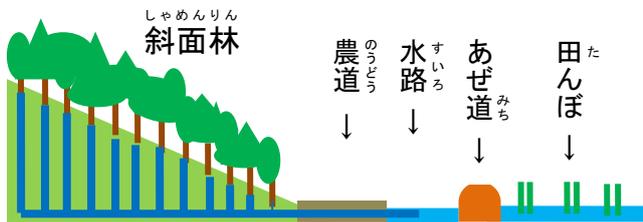
みず なか ちい い ちい おお なつ  
水の中は小さな生きものたちのすみかで、小さなプランクトンが多く、夏にはおたまじゃくしやドジョウなどの水生生物や鳥なども集まって、豊かな生態系が育まれます。

やなぎやと た しゃめんりん たくわ みず いちねんじゅううるお じょうたい つつ  
柳谷の田んぼは、斜面林が蓄えた水により一年中潤った状態が続きます。

せりざわ いけ すいでん みず きょうきゅう いけ ふゆ わた どり み  
芹沢の池は、水田に水を供給するための池です。冬はマガモなどの渡り鳥が見られます。

## しゃめんりん 斜面林 (③)

やと ふちど しゃめん はやし た みず きょうきゅう すいげん ほん き むすう い  
谷を縁取る斜面の林は、田んぼに水を供給する水源です。たった1本の木にも無数の生きものが関わって、豊かな生態系を維持しています。



## どうきばやし 雑木林 (③)

さとやま み られる き しんたんざい かぐ しよう き  
里山に見られる木は、クヌギやコナラなどの薪炭材や家具などに使用される木でした。昔は、それらの木を使うために定期的な伐採や下草の処理など人間の手によって管理されていました。手入れされた雑木林は、花や草、それらに集まる昆虫たちにとっても暮らしやすい場所です。現在は定期的な伐採などの管理がされていないため、シラカシのような常緑広葉樹が増えています。

また、冬は葉っぱが落ち、木の形がよく見えます。どんな形をしているか見てみましょう。

## やとどこ しっち 谷戸底の湿地 (③)

しゃめんりん はさ あしはら しっち や とおく すす やとどこ はば せま  
斜面林に挟まれた葦原は湿地です。谷戸奥に進むにつれて、谷戸底の幅が狭くなります。

ふゆ とり あつ しっち おお むし ふゆ くさ お しげ  
冬は多くの鳥が集まってきます。湿地には多くの虫がいることや、冬でも草が生い茂り、すぐ隣には林があり鳥にとって隠れ家になるからです。

## やと いえ 谷の家 (⑤)

さとやま ひと す ふぜい だ のうかふう たてもの のうさぎよう しきおりおり く たいけんば  
里山に人が住んでいた風情をかもし出す農家風の建物で、農作業や四季折々の暮らしの体験場となります。今回は、谷の家のかまどを使って昔ながらのおはぎを作ります。

## ② 「はっけん！」スタート

### ～ポイントは「つながり」～

いよいよ楽しい観察タイム！ はっけんポイントに注目して、見つけたモノや場所を「はっけんカード」と地図（緑色）に記録してね（カードは当日配ります）。

はっけんしたものをカメラを持っているスタッフに声をかけて、写真も撮ってもらおう！

### はっけんポイント①

### 生きものをはっけんしよう！

里山公園には多くの生きものがいます。

好きな生きものは見つけれられるかな？

さあみんなではっけんしよう！

11ページには里山の木を紹介しているよ。

はっけん！



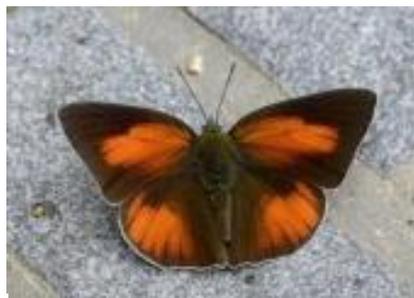
### ★こんなものいるかな？ どこにいるかな？ なにしてるのかな？



カントウタンポポ  
のロゼット



落ち葉



ウラギンシジミ♂(表)



ウラギンシジミ(裏)



カマキリのらんとう



ジョウビタキ(オス)



ジョウビタキ(メス)



エナガ

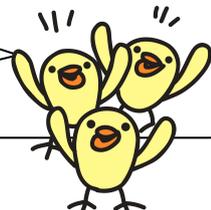


モズ



メジロ

目だけでなく、耳や鼻も使って、  
生きものを「はっけん！」しよう！



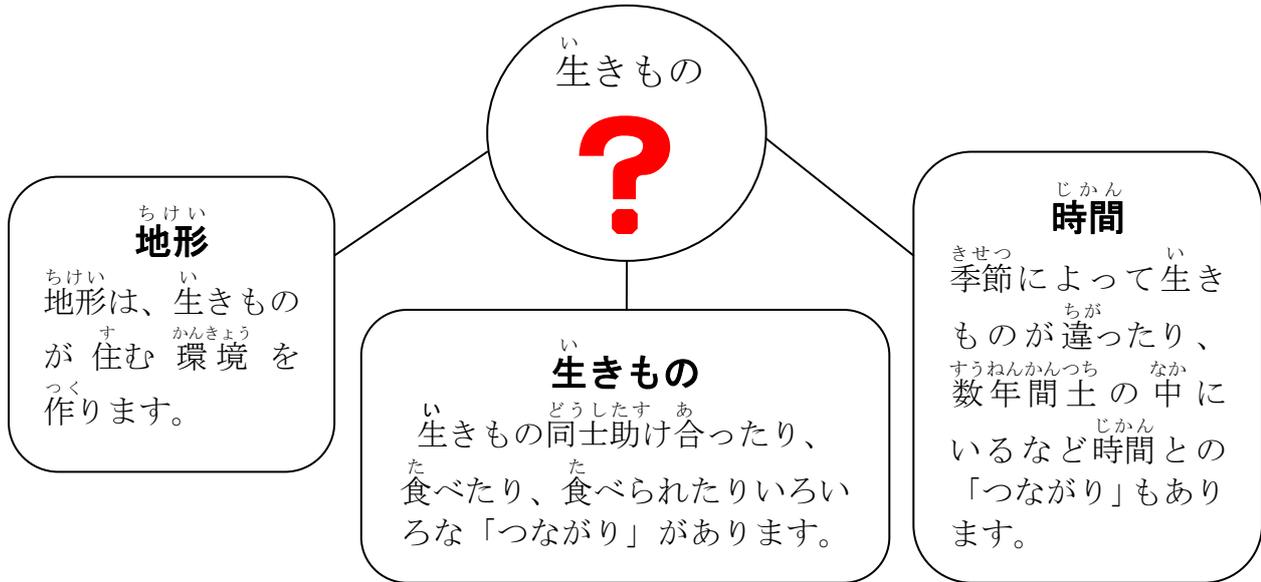
## はっけんポイント②

### 生きものと「つながり」をはっけんしよう！

みんなに好き嫌いがあるように、生きものや植物にも、食べ物や住む場所に好き嫌いがあります。

生きものの気持ちになって、なぜその生きものがそこにいるのか考えてみましょう。

「植物」「昆虫」「鳥」「地形」「時間」などのそれぞれの「つながり」をはっけんしよう！



## はっけんポイント③

### 人との「つながり」をはっけんしよう！

里山は人の手が加わることで保たれている環境です。里山と人との「つながり」を「はっけん！」してみよう。人と自然がつながっているのわかるかな？

#### ★人との「つながり」ってどんなもの？

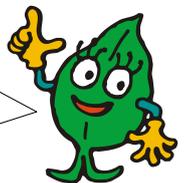
##### たとえば

- ☞ 食べられる植物…
- ☞ 道具になる植物…
- ☞ 農作業に関わるモノ… など



里山は木を育て、人は木を薪炭材、シイタケの原木、家具、家、堆肥などに利用するために、15年～25年くらいの周期で木を切ってきました。根元を残して切ると切り株から新しい芽が出てきて若い木が育ちます。

リーダーの話も聞いてみよう。





いいもの見つけた！  
さとやま

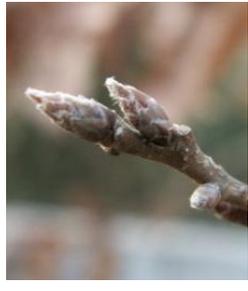
# 里山たまたまばこ

~vol.6 冬~

テーマ

## 「木」

さとやまこうえん 見 おも き  
里山公園で見られる主な木

なまえ 名前	じゅひ 樹皮	すがた 姿	ふゆめ 冬芽	ひと 人とのつながり
クヌギ	 <p>はいにくしよく、 たて ふか 灰黒色で、縦に深 い不規則な裂け目 がある。割れ目の 底が褐色。</p>	 <p>らくようこうようじゅ 落葉広葉樹なので、 冬は葉がない。主幹 は直立。枝は枝先ほ ど細くなる。</p>	 <p>さきほそ くり やや先細く栗 褐色で灰白色の 毛がある。</p>	<p>みき えだ しんたんざい 幹や枝を薪炭材やシイタケ げんぼく けんちくざい きぐざい ふねざい 原木、建築材、器具材、船材 など。葉は肥料。実(ドングリ) はコマなどのおもちや、縄文 時代には食用。樹皮は染料や 漢方薬として使用。 また虫が集まる樹で、幹から 樹液がしみ出て、カブトムシや チョウなどが集まるため、虫取 りをする人に人気。</p>
コナラ	 <p>じゅひ はいにくしよく 樹皮は灰黒色で、 縦に深い不規則な 裂け目があるがク ヌギよりは浅い。</p>	 <p>らくようこうようじゅ 落葉広葉樹だが、 落葉は春頃。樹形 はほうき形。</p>	 <p>ふゆめ らんけい 冬芽は卵形で 濃い褐色。</p>	<p>どうよう しんたんざい クヌギと同様に薪炭材やシイタ ケ原木など様々なものに使わ れ、昔の生活に最も身近な 樹だが、燃料の主力がガソリン などの化石燃料に変化したた め、薪炭材としての位置づけ は失われた。また、実(ドング リ)は重要な食料や染料として 使用、葉は馬牛の飼料として 使用。</p>
タブノキ	 <p>じゅひ あんかつしよく たい 樹皮は暗褐色で平 らでなめらか。皮目 が目立つ。</p>	 <p>じょうりよくこうようじゅ 常緑広葉樹なので、 冬でも葉がある。枝 は太く、横に張り 豪壮な傘状となる。</p>	 <p>わかぼ あか 若葉は紅い。 枝先に1つつけ る。</p>	<p>じゅひ は せんりょう ざい きぐ 樹皮や葉は染料、材は器具 材、家具材、建築材、ベニヤ 材、枕木、船材などに用いら れる有能な樹。昔、朝鮮半島 から日本に渡来した船は全て タブノキで造られていた。枝葉 には粘液が多く、乾かしてタブ 粉にし、線香や蚊取線香の 粘結材として使用。</p>

<p>エノキ</p>	 <p>樹皮は厚く灰色。小さな皮目が多く、ざらざらしている。しわがゾウの皮膚のように見える。</p>	 <p>落葉広葉樹なので、冬は葉がない。枝が横に広がり、江戸時代は旅人の目印や木陰のためによく植えられた。</p>	 <p>暗褐色の毛がある。1~5mmの三角形と小さく、伏生する。</p>	<p>かつては漆かぶれなどに効き目があるなど薬用に利用した。また薪炭にもした。材は硬く緻密で、農機具の柄に使ったことからエノキ(柄の木)の名が生まれたという説もある。果実は甘く、鳥が食べ、種子は糞として排出されるので、芽生えがあちらこちらで見つかる。</p>
<p>ケヤキ</p>	 <p>樹皮は灰白色で雲紋状の薄い片となつてはがれ落ちる。横長の皮目が多く、全体的に滑らか。</p>	 <p>落葉広葉樹なので、冬は葉がない。主幹は直立し、扇を開いたような形で枝が伸びる。</p>	 <p>冬芽は、紫褐色で円錐状卵形で横に開出する。側芽でジグザグに出る。</p>	<p>木目が美しく、磨くと著しく光沢が生じ、堅くて摩擦が強いため、家具材・建築材等に使用される。神社仏閣などにも使用したが、現在は高価になっている。紅葉がきれいで長寿であるため、街路樹などあらゆる場所で植えられ並木として親しまれている。秋には枝ごと種を落とし、葉が羽の役割をして風に乗って遠くまで飛ぶ。</p>

つくってみよう!

## ~かまど de おはぎ~

「材 料」

黒米・もち米・つぶあん

「作り方」

- ① スギやヒノキなどの燃やし木や薪を集めます。
- ② かまどに燃やし木や薪を入れ、火をつける
- ③ かまどでお米を炊く。
- ④ 手の平で黒米ごはんを平らに伸ばす。
- ⑤ 黒米ごはんの上に丸めたあんこを少なめにのせる。
- ⑥ 黒米ごはんであんこを包む。
- ⑦ 完成!!!

× モ ~自由じゆうにつかってね！

じかい さとやま たい へいせい ねん がつ よてい  
次回の「里山はっけん隊！」は平成27年3月の予定です。  
さんか  
ぜひ参加してください。